

市町村森林情報緊急整備事業（新規）

【平成23年度概算決定額 424,140(0)千円】

事業のポイント

市町村森林整備計画の適切な策定等に必要な森林情報の整備等を図り、森林の計画的な整備・保全を推進します。

（背景）

- ・「森林・林業再生プラン」を推進していくためには、森林・林業の再生を制度面からバックアップする必要があり、森林計画制度の抜本的な見直し、施業の集約化や路網整備計画の策定、生物多様性等新たな国民のニーズへの対応において必要となる森林情報の整備が急務となっています。
- ・森林資源情報と地図情報等をリンクさせた森林GISの整備は、市町村段階で2割と低位な水準となっております。

政策目標

路網整備の促進や生物多様性の保全等に対応するため、各市町村が作成する市町村森林整備計画の変更を100%完了（平成23年度）

< 内容 >

（1）市町村森林GIS整備推進事業

森林のマスタープランとなる市町村森林整備計画の実行性をより高めた策定・運用を確保するため、市町村が行う都道府県森林GISを活用した効率的な森林GISの導入について支援します。

（2）市町村森林整備計画一斉変更支援事業

平成23年度に市町村森林整備計画を一斉変更するために必要なデータの整備や現地調査の実施、システムの更新、説明会の開催等について支援を実施します。

< 補助率 >

1 / 2

< 事業実施主体 >

市町村

< 事業実施期間 >

平成23年度（1年間）

[担当課：林野庁計画課]

市町村森林情報緊急整備事業

森林の適切な整備と地域材の利活用を推進するためには、地図情報とリンクした、精度の高い森林資源情報が必要。

しかし、

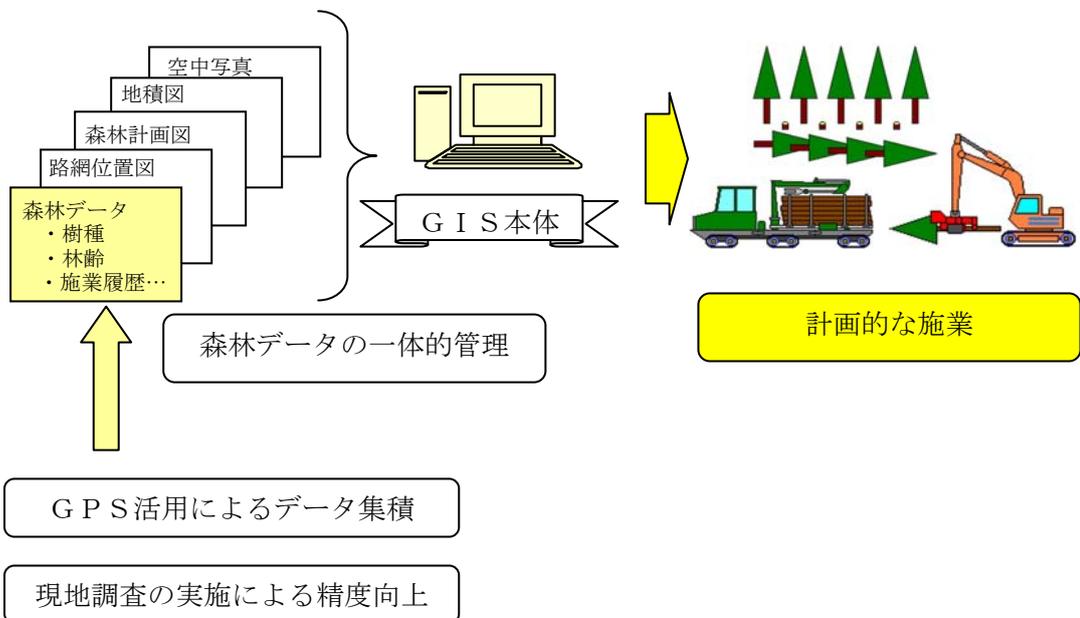
釧路市にはこれまでこうしたツールがなく、森林資源の利活用に必要な情報を提供することが困難であった。

そこで、

森林GIS・GPSの導入、森林情報の精度向上により、

- ・ 的確な資源状況の把握
 - ・ 的確な現状分析
 - ・ 計画的な森林施業の推進
- が可能に！！

- ① 市町村森林GIS整備推進事業（GIS・GPS機器の導入）
- ② 市町村森林整備計画一斉変更支援事業（森林データ充実のための現地調査）



釧路市森林利活用のためのマスタープラン（名称未定）のイメージ

<主な記載項目>

- I めざす姿（公益的機能の高度発揮と地域活性化の両立）
- II 行政・業界・森林所有者・市民など 各関係者に求められる役割
- III 地域材利用推進の意義
- IV 地域材利用推進の体制（釧路森林資源活用円卓会議）
- V 地域材利用推進のための方策
 - ・地域連携・情報の集積と公開・販売促進・商品開発・人材育成・普及啓発
- VI その他計画との関連

「釧路森林資源活用円卓会議」で方向性を議論

